

## 特記仕様書

### 1 総 則

この特記仕様書は、市川市における消防団員冬制服の購入について必要事項を定めることを目的とする。

### 2 件 名

消防団員冬制服の購入

### 3 使用生地及び縫製

別紙「縫製規格書」のとおり

### 4 数 量

制服（冬服上着） 20 着

制服（冬服ズボン） 20 着

### 5 納 期

令和4年2月28日（月）

### 6 納 入 場 所

市川市消防局 警防課

### 7 担 当 課

市川市消防局 警防課

### 8 そ の 他

- (1) 入札参加申請前に、市川市消防局警防課に生地規格についての「公的機関が発行する試験証明書」又は「社内試験成績書」（以下「試験証明書」という。）を提出し、入札に参加しようとする商品の承諾を得て、「試験証明書」に市川市消防局警防課の受付印を得ること。
- (2) 入札参加申請の際に必要な書類に併せてメーカーからの「出荷引受書」を契約課へ提出すること。
- (3) 契約業者は「出荷証明書」を速やかに契約課に提出すること。
- (4) 契約業者は各メーカーのサイズ表に基づき、制服（冬服上着）及び制服（冬服ズボン）共に担当課の指定のあった数量を納入すること。（特注はありません。）
- (5) 納入の際は、納品日を担当課に確認のうえ納入すること。

- (6) 納品に際しては担当課担当者及び契約課担当者の検収を受けるものとする。
- (7) 納入する製品については、傷・ムラ・斑点・汚れ・その他外観を損ねるものであってはならない。
- (8) 生地メーカー及び縫製会社による不都合箇所が生じた場合は、無償で取替え又は修繕するものとする。
- (9) この仕様に疑義が生じたときは、速やかに担当課担当者及び契約課担当者へ連絡し、指示を受けるものとする。
- (10) 特記仕様書に定めのない事項については、物品供給契約書（「物品供給契約約款」を含む）定めるとおりとする。
- (11) 暴力団等排除に係る契約解除に関する特約条項を遵守すること。

# 縫製規格書

消防団員冬制服

令和3年度

市川市消防局

## 1 適用範囲

本規格は、市川市消防団員冬制服について適用する。

## 2 型式

上衣 剣衿シングル打合3ッ釦、左胸箱縁ポケット、袖口ブレード、両腰方玉縁付きポケット、上部脇裏タバコ入れ、背抜き仕立、センターベント

ズボン 長ズボン腰ベルト、金具アジャスター式、外タック天狗付きファスナー式、脇斜切替ポケット、右ポケット内側袋にて忍びポケット付き、両後ポケット、雨蓋無し、片玉縁ポケット、左側のみ釦止、裾口シングル、側章付

## 3 材料

表 地	ニッケA-2800トップ染 カシミヤドスキン 黒 ウール50% テترون50%		
胴 裏	東レ72J ポリエステル黒100%	袋 地	クリーム色
袖 裏	同上	腰 裏	クリーム 65、35%
袋 地	クリーム色	ベルト芯	マンベル38mm巾
前 芯	バイリーン	ファスナー	YKK ミトラ金属製
肩 バス	不織布	釦	尿素黒15mm
カラークロス	日本フェルト(80)	前 かん	真鍮製P. P用
肩 綿	良質のウレタン	側 章	人絹縞縁15mm 黒色
服 釦	消防団章入り 金属製	縫 糸	ポリエステル50番黒色
袖 線	金糸縞	サイズマーク	印刷号数表示
衿 吊	エミヨー織ネーム	品質表示	印刷絵表示
縫 糸	ポリエステル50番黒色		

## 4 条件

- (1) 裁縫 糸調子は、上下共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にする。
- (2) 裁断 型入れは布目を正しく通し全体を同一の反りであるように型番号又は記号を付ける等充分留意すること。
- (3) 仕立 優美なスタイルと着崩れのない上級仕立とすること。
- (4) 仕上 糸屑をとり、丁寧にプレスすること。

## 5 縫製要領

### (1) 上衣

- 1 衿及び衿付 カラークロスに芯を張り、折返し線はミシン縫いとする。芯はバイ

ヤスで取り表衿とカラークロスと合わせ縫い返し、表衿は見返しと合わせてミシン縫割りとする。返衿巾標準8.5cm、衿先巾別図通り、衿腰巾0.6cm。

- 2 ステッチ 上衿、返し衿、フロント胸、腰ポケットに巾0.6cmのステッチを入れる。
  - 3 身返し 衿付けから裾まで継目なし、身返しは第一釦位置で9cm、裾で8cm以上とする。
  - 4 返し止め縫い 身返し上部より内ポケットまで。
  - 5 胸ポケット 上前に箱隠しポケット1ヶを付ける。口巾12cm深さ14cm、箱巾2.6cmとする。
  - 6 腰ポケット フラップ付きポケット、フラップ巾5.5cm、口巾15cm、深さ20cmとし片玉とする。下前のみ忍びポケット付とする。
  - 7 肩縫い 割縫い裏地は片倒しとする。肩綿を肩先に芯と裏の間にとりつける。
  - 8 背縫い 表は縫割りとし裁目はカラゲミシン始末とする。背中央裾はセンターベルト。
  - 9 脇縫い 裁目はカラゲミシンで始末とする。
  - 10 裁腹 前身表の裾下より裾までサイドスピードとし切り替える。
  - 11 ダーツ 胸、脇に各1本裏も同様。表ダーツは縫い割り、裏ダーツは片倒し。
  - 12 袖・袖付 表地、地縫い割、袖芯を入れ裏地と中とじをする。  
山袖先より10cmに階級線として金糸縹線を縫着する。  
衿先表地折返しは3cmとする。
  - 13 裏 前身は裏付きとし背裏は背抜き仕立とする。背中央で25cm脇で11cmとする。背裏裾はくさり留めで表地背縫い代りに2cmの浮かし留め縫いとする。背裏裾は2cmの三つ折りとする。
  - 14 内ポケット 左右各1ヶ片玉口巾14cm深さ20cm三角型雨蓋釦止めとする。右のみ雨蓋付き。
  - 15 タバコ入れ 上前に身返しにかけて口巾9cm深さ10cm片玉縁ポケットをつくる。
  - 16 芯 前身に指定の芯を入れる。
  - 17 裾 表地折返し仕上がり3cmとし、裏地は1cmのキセ掛けとする。
  - 18 階級章止め 下前の所定の位置に図示通りループ2本を付ける。
  - 19 衿吊 衿中央に衿吊を付ける。
  - 20 サイズ表示 衿吊下位置につける。右につける。
  - 21 片布 下前内ポケット口下6cmに付ける。
  - 22 品質表示 片布下方に縫い付ける。
- (2) ズボン
- 1 腰ベルト 仕上がり4cmとし縦地使用で指定の芯を入れる。脇縫いを中心に

- レールを用いて左右約2.5cm以上ウエストがスライドするアジャスターシステムを設ける。
- 2 腰裏 指定腰裏とし表地と無理のないように注意し入念に縫製する。
  - 3 前タック 左右各1本外向きにつける。深さ1cmとする。
  - 4 脇ポケット 左右各1本1ヶ斜切替ポケット上部より5.5cm下り口巾15cm深さ口下端より13cmとする。口両端間止めとする。
  - 5 忍びポケット 右脇ポケット内に忍びポケットをつける。
  - 6 後ろポケット 後身左右に各1ヶをつける。上端より8cm下りの位置に口巾14cm深さ18cm片玉とする。左ポケットのみ釦止めをする。
  - 7 側章 指定の黒縞縁を脇線より後身側につける。
  - 8 後ダーツ 2本とし地縫い片倒しとする。ウエスト100cm以上は1本でも可。
  - 9 相引・内股・尻縫い 裁目はオーバーロック縫い尻縫、内股は二重縫い又は環縫いとする。
  - 10 天狗・前立 天狗、前立てに芯を入れる。前かん、ファスナー付。
  - 11 ベルト通し 上端より1cm下りに巾0.8cm長さ4.5cmのループ8本を付ける。
  - 12 シック 棒シックとする。
  - 13 裾 表地折返しは5cm以上とする。
  - 14 サイズ表示 第一ループにつける。
  - 15 片布 布 下前脇ポケット内側につける。
  - 16 品質表示 片布下方に縫いつける。

— 消防団員制服概要図 —

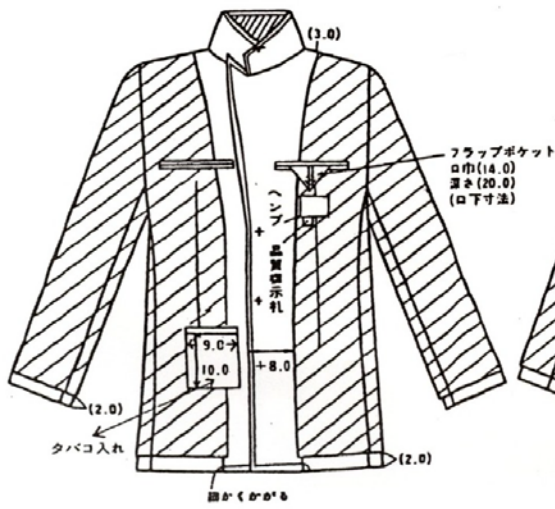
前面図



後面図



前面裏面



後面裏面

